

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500316
事業所名	グループホーム笑顔の泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 5類に移行を得て少しずつ以前の状態に戻つつあり、近く養護学校の職業体験の受入れも予定されます。またハンドマッサージの月1回の訪問は再開を果たし、利用者は「気持ちよかったよ」「また来てね」と歓んでいます。日々の暮らしでは散歩に力を入れ、途中には愛らしい花が咲き誇る家や、イルミネーションに凝る家もみられ、利用者の小さな刺激となっています	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 令和2年4月からコロナ禍対応として書面開催を続けてきましたが、5類移行とともに本年8月からはコロナ禍以前に形態を戻し、参会による運営推進会議を開催しています。地域代表として出席をお願いしている区長が多忙を極めており、継続参加が難しい現状を鑑み、事業所では他の地域代表をあたっていて、適正な運営に努めようと図っています	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議が通常運用となり、地域包括支援センターの出席も得られています。感染症の対応情報の他にも空室状況の問い合わせもあり、最近も1名の入居につながり、運営を助けてもらえています。また市役所からのメール配信は都度確認しており、介護保険や加算について分からないことがあれば電話のほか、窓口まで出向き、相談することがスムーズです	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族とは管理者のLINEでつながり、面会と外出の予約や確認が速やかにおこなわれています。家族の要望や利用者の状態に個別に対応することを旨とし、「働き者なので仕事を与えてほしい」には家事の方法から教え、調理、食器洗い、洗濯、掃除と八面六臂の活躍となり、第二の職員を輩出する程です。一方、そこかしこにソファを配置して居場所づくりを進め、何もしたくない人も気ままに過ごせるよう図っています	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							